

農林水産部

平成25年度 沖縄地域農林水産物等 輸出促進協議会を開催

3月10日(月)、沖縄総合事務局では、沖縄の農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組や情報を共有し、今後の展開方向を検討することを目的に、国の地方支分部局、県、日本貿易振興機構等の構成員参加の下、沖縄地域農林水産物等輸出促進協議会を開催しました。

本協議会は平成19年から毎年開催しており、本年度は、昨年8月に策定され、政府全体で策定された「農林水産業・地域の活力創造プラン」にも位置づけられている「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」や平成26年度予算の概要について農林水産省輸出促進グループから、沖縄からの輸出の状況と取組について沖縄総合事務局から説明を行い、協議会構成員からの活動報告を行いました。

また、今回の協議会では、えんグループ(又吉代表)、(有)沖縄長生薬草本社(林営業部長)、(株)新垣通商(新垣代表取締役、儀間統括部長)から、各社で積極的に展開されている牛肉や豚肉、うこん、も

ずく等の輸出の取組状況について情報提供いただき、3社を交えた参加者による意見交換が行われました。



協議会の様子



事業者からの報告

全国的な農林水産物・食品の輸出を巡る状況は、平成23年3月に起こった原発事故の影響などにより大きく落ち込んでおりましたが、昨年の輸出額は約5,500億円と震災前の水準を超え、過去最高を記録するなど、輸出拡大の機運が高まっています。沖縄においても、牛肉や豚肉といった肉類やもずくなど沖縄県特有の農産物の輸出が拡大しています。沖縄総合事務局では、これからも沖縄の農林水産物・食品の更なる輸出拡大に向けて、力を尽くしてまいります。



質疑の様子

経済産業部

「省エネルギー月間」イベントの開催

政府はエネルギー消費が増大する毎年2月を「省エネルギー月間」と定めており、当局でも省エネルギーの啓蒙・普及活動を目的として、那覇第2地方合同庁舎において下記のイベントを開催しました。

- ①「エネルギー管理功績者及びエネルギー管理優良工場等表彰式」



表彰式の様子
(沖縄電気安全・使用合理化委員会委員長表彰と合同開催)

長表彰」

省エネルギーの意義を理解し、その成果が他の模範となる事業者等として、那覇空港ビルディング株式会社 那覇空港国内線旅客ターミナルビルが受賞されました。(2月26日(水))

- ②「エネルギー使用合理化シンポジウム」

局長表彰と併せて開催したエネルギー使用合理化シンポジウムでは、資源エネルギー庁から平成25年度に改正された「エネルギーの使用の合理化に関する法律(通称:省エネ法)」に関する内容、制度の説明が行われました。また、エネルギー管理優良工場等として表彰された那覇空港ビルディング株式会社からは、省エ

ネルギー取組に関する優良事例が紹介されました。

- ③「省エネと地球温暖化対策パネル展」
当局1階の行政情報プラザで開催したパネル展では、沖縄電気安全・使用合理化委員会などの関係機関の協力のもと、沖縄科学技術大学院大学での直流電流を用いたマネジメントシステム実証実験の取組や省エネルギー、地球温暖化対策に関する取組などを紹介しました。(2月24日(月)～28日(金))



パネル展の様子

財務部

「地域密着型金融に関する シンポジウム in おきなわ」を開催



3月13日(木)、沖縄県立博物館・美術館において、財務部主催による「地域密着型金融に関するシンポジウムinおきなわ」が開催され、一般の方々をはじめ、金融機関、商工団体、行政機関など約100名の方々が参加されました。

このシンポジウムは、地域金融機関が、自らの地域密着型金融に関する取り組み内容等を発表することにより、地域密着型金融に関する知見・ノウハウの共有を図ること等を目的に開催しており、今回で8回目となります。

シンポジウムでは、河合局長の挨拶の後、山本謙三氏((株)NTTデータ経営研究所会長)より「我が国金融機関による中小企業のトップライン支援等に関する調査報告」について報告があり、また、地域密着型金融の推進サポート役として参加いただいた、佐久間英利氏(千葉銀行頭取)より「ABLの取組みと今後の展開」について発表が行われたほか、県内金融機関における特色ある取組み事例として、森聡氏(コザ信用金庫お客様支援室)より「当金庫の地域活性化への取組み」について発表が行われました。

また、アジア地域で飲食事業を展開

している、又吉真由美氏((株)えん沖縄社長)より地域金融機関によるソリューションの実行等の事例として、「万国津梁「食」のブランディングと輸出拡大プロジェクト」について、企業経営者(借り手)の視点から発表が行われました。

続いて、公認会計士の山内眞樹氏をコーディネーター、佐久間英利氏、玉城義昭氏(沖縄県銀行協会会長)、仲田秀光氏(那覇商工会議所専務理事)、西里喜明氏(沖縄県中小企業診断士協会会長)、又吉真由美氏、実吉昭二氏(コザ信用金庫常務理事)をパネリストとして、「沖縄経済の活性化へ向けた金融

機関の役割と課題」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストからは「千葉と沖縄の金融機関とのコラボで、お互いの企業のトップラインが上がるような取組みができないか。」「お金以外のところで活力を引き出すことも地域金融機関の大きな役割であり、そのためには、行員が企業経営者の中に飛び込んで一緒に考えていくという共同作業が必要。」など、地域の活性化へ向けた金融機関のコンサルティング機能のありかたなどについて活発な意見が交わされました。



人事異動



沖縄総合事務局次長

たなか あいちろう
田中 愛智朗

平成26年4月1日付け就任 青森県出身51歳

■略歴：昭和62年 総務庁入庁
内閣府大臣官房参事官(総務課)を経て現職。

■趣味：読書

■抱負：沖縄は二度目の勤務になります。前回はリーマン・ショックが冷めやらない状況でしたが、今回は沖縄の景気もだいぶ良いようです。この勢いを保っていければと思ってます。